名古屋経済

◇名古屋市博物館が「くらしのうつりかわり」

名古屋市博物館（名古屋市瑞穂区瑞穂通1の1）は来年1月8日～2月27日、同博物館34回収蔵品展「くらしのうつりかわり」を開る。

会社の一生

設立から事業承継まで

◆16◆

経営理念を磨き続ける

行動や社会環境 常に確認

経営理念はただ掲げておけばよいというものではありません。

経営理念ができると従業員の行動が変わるはずです。なぜならば、経営理念がないうちは、従業員は社長の判断で場当たり的に行動するしかありませんが、経営理念ができると従業員が経営理念に基づいて自らの判断で行動するようになるからです。

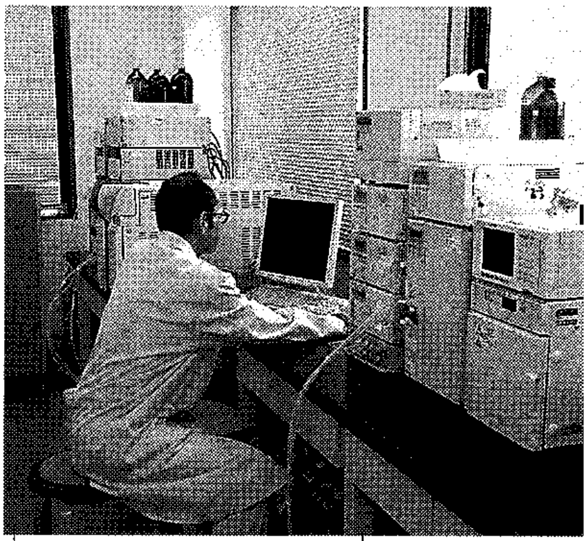
会社に経営理念を作ったら、まず社長自らが経営理念に日々の行動を照らし、あらゆる局面で経営理念に基づいた判断を下すことで経営理念を実践します。次に従業員には経営理念の下に自ら判断し行動することを求め、経営理念を実践する自立した従業員を育てていくことが重要です。

社長は激しく変化する社会環境の中で成長し続ける自社を振り返り、経営理念が形骸化しないように常に経営理念、特に2代目以降の後継社長の場合は先代から引き継いだ経営理念とその解釈が現在の社会環境に合っているかを問い直し、場合によっては経営理念を変えること、もしくは普遍的な経営理念の場合には社会環境に合わせて経営理念の解釈を変えることをしなければなりません。そして従業員全員が経営理念に基づいて行動できているか、会社の利益追求が経営理念を逸脱していないかを常に監視していかなければなりません。これが経営理念を磨くことです。

誰もが共感するすばらしい経営理念を掲げながら、一部の従業員が経営理念を実践しなくなったり、自分の都合が良いように曲げて解釈をするようになったりしたために経営理念が曇ってしまった企業は、いずれ不祥事を起こして消えていくことになります。これまで経営が悪化して消えていった企業の多くがこの例に漏れません。

皆さんの会社の経営理念は、曇っていませんか。ご自身の行動、経営判断、従業員の行動が経営理念と繋がっているかどうか今一度確認してみてはいかがでしょう。従業員全員が、「私が我が社の経営理念を一番に実践しています」と胸を張って言い続け行動できている会社は、きっと生き生きしているに違いありません。

【中小企業経営支援協議会、経営サポーター・KRC代表　大島理喜男】



カーボンオフセットに参入したコスモ環境衛生コンサルタントのラボ

カ

ぼう大なエネルギーを使用する製造業の現場。生産ラインだけでなく、夏や冬には空調システムにも大きなコストがかかる。

空調設備設計施工の大冷工業（名古屋市東区、大場泰裕社長）は自社開発の次世代暑熱対策システムを、ダイカストなどの工場向けに積極提案している。

同社の空調装置「クールジェットシステム」は、

☆CO_2削減へ

地球温暖化対策として、急務といわれるCO_2排出量削減対策。その手段として注目されているのが、カーボンオフセットだ。

各種環境測定のコスモ環境衛生コンサルタント（名古屋市西区、伊藤隆社長）は、同事業を本格展開した。中小企業向けに国内クレジット制度活用の支援を行うもので、

レジットの購入により相殺（埋め合わせ）すること。企業の場合、代行サービスを行なう仲介役を通じて、国連承認を得た信頼性の高いクレジットで排出権を購入し、仲介役から「オフセット証書」を渡されることで、環境活動への貢献が証明される。同社では「改正省エネ法の影響もあり、今後、こうした市場には一層のニーズがあるのでは」としている。

本

エ

木造模

邦（名古屋

中小

名古屋

キュベー

LIC、

区千種2

話052・

110）は

日午後2時

設セミナー

規参入支

「医療部

成果と製

する。

産業技

中部セン

ミックス製

技術を基

工骨や人

生体代替

取り組ん

らの成果

ともに、

化に求め

術を紹介

が医療・